


提出 順番	No. 9	令和元年11月25日 午前・ <del>午後</del> 2時08分受領
----------	----------	---

令和元年11月25日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 小田 新紀 

## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
1 中学校部活動実態調査を	<p>近年、中学校・高等学校等の部活動の在り方が問題視され、昨年3月にはスポーツ庁が、12月には文化庁が「部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を策定するなど、国においても、部活動における生徒や教職員の負担軽減についての議論が重ねられてきています。</p> <p>しかしながら、全国的にもまだまだ問題の根本的な解決には至っていないばかりか、その道筋もはっきりと見えていない状況ではないかと思われまます。</p> <p>部活動は、日本において長い歴史があり、特効薬的な解決策を見出すことは簡単ではありませんが、まずは、全ての部活動における活動状況の実態を正確に把握するための調査を行うことから踏み出していくべきではないかと考え、次の2点について伺います。</p> <p>(1) 中学校部活動の活動状況の実態把握に向けての調査を行う考えは。また、その手法は。</p> <p>(2) 国や道のガイドラインを基に、本町独自のガイドラインを作成する考えは。</p>

<p>2 丹頂鶴とも共生できる地域を</p>	<p>昨年2月、札幌市街地において、三羽の丹頂鶴が悠々と歩いている姿が目撃されました。その光景は、SNSを通して国内外の方々が注目し、マスメディアにも取り上げられるなど話題となりました。</p> <p>市街地にまで丹頂鶴が出現するようになったこと、活動地域が広がっていることは、長年の保護や繁殖活動の成果ではありますが、その一方で、ごみ荒らし、交通事故、子どもたちとの接触、さらには農業被害など様々な懸念の声も出されています。</p> <p>ついては、本町でも今後、増えていくことが予想される丹頂鶴とより豊かな共生を目指すべきと考え、次の3点について伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 本町における丹頂鶴の生息状況は。</li><li>(2) 本町において予想される懸念は。</li><li>(3) 懸念に対する対策方法は。</li></ul>
------------------------	--

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。